

中国地区品質経営協会 シンポジウム**市場創造と技術革新****－ 参加のお勧め －**

「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉は国内外ですっかり定着しました。政府もDXの必要性・重要性を繰り返し発信しており、DXを成長戦略の柱の一つに位置付ける企業も多くなっています。

一方、経済産業省による「DXレポート」では、企業のDXが遅々として進んでいないこと、また、取り組みがみられる企業でもDXの本質を踏まえたものになっていないといった課題が指摘されています。「DX先進企業」と評価される企業も現れ始めている中、成功の明暗を分けるものはどこにあるのでしょうか。

当協会においても2021年2月にDXをテーマとするシンポジウムを開催し、先進的な取り組み事例を紹介させていただきました。参加された皆様からは「DXの必要性や推進していく上でのポイントがよく理解できた」という評価をいただいた一方で、「大企業の先進事例だけではなく、地場の製造業にとって参考になる事例ももっと紹介してほしい」といったご意見も頂戴しています。

そこで今回のシンポジウムでは、地元広島を中心にDX事業を展開している株式会社エネルギー・コミュニケーションズの上田様、中小企業へのデジタル技術の普及に取り組んでいる広島経済同友会 ものづくり委員会の委員長であるマツダ株式会社 向田様を講師にお招きして具体的な活用事例を紹介いただくとともに、当協会の運営委員長である広島工業大学 学長 長坂康史氏のコーディネートによるパネルディスカッションを行い、参加者の皆様からの質問にお答えする形で講師の方々と意見交換を行っていただきます。

DXを成功させるには具体的に何をすればいいのかといった疑問に対し、本シンポジウムを通じて多くの示唆やヒントを得ていただけるものと思います。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

◆ 日 時 : **2022年2月24日(木) 13:20 ～ 17:00**

◆ 会 場 : Zoom によるオンライン形式のセミナー

(参加者は各会員会社様の会議室等を会場として参加)

◆ プログラム :

第一部 講演① (13:25 ～ 14:25)

『 テーマ名 : DXに関する最新の技術動向と活用事例 』

株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 専務取締役 ソリューション事業本部長

上田 博之 (うへだ ひろゆき) 氏

第二部 講演② (14:35 ～ 15:35)

『 テーマ名 : 「輝くものづくりを極め続ける広島」を目指して 』

マツダ株式会社 本社工場 工場長 (広島経済同友会 ものづくり委員長 委員長)

向田 光伸 (むかいだ みつのぶ) 氏

第三部 パネルディスカッション (15:45 ～ 16:55)

・ 株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 上田 博之 氏

・ マツダ株式会社 向田 光伸 氏

・ 広島工業大学 学長 長坂 康史 氏 (コーディネーター)

QMAC Symposium 2022.2.24

■ 講演者/講演要旨 紹介

<講演①>

【講演者】

◇ 上田 博之 氏 (株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 専務取締役 ソリューション事業本部長)

【略 歴】

- ・ 1982 年：中国電力株式会社 入社
- ・ 2013 年：中国電力株式会社 グループ経営推進部門部長
- ・ 2014 年：株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 取締役就任
- ・ 2020 年：株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 専務取締役就任 現在に至る

【講演要旨】

2018 年に経済産業省から『DX レポート』が公表されて以降、2020 年には『DX レポート 2』、2021 年には『DX レポート 2.1』が順次公表されるなど、政府は DX の必要性・重要性に関する提唱を続けています。

新型コロナウイルス感染症により世界経済が大きな被害を受ける中、企業が継続的に進化・成長していくためには、DX をより一層加速させていく事が不可欠になっています。

DX 推進のゴールは単なるデジタル化ではなく、ビジネスモデルや企業文化・風土を変革し、競争優位性を確立することにあります。

エネルギー・コミュニケーションズは、数年前から RPA や IoT の活用等によりお客さまの DX 推進の取り組みをご支援してまいりました。本講演ではこれまでの当社の取り組みの中から、DX 推進のポイントや事務部門・技術部門における DX 活用事例を紹介させていただきます。

<講演②>

【講演者】

◇ 向田 光伸 氏 (マツダ株式会社 本社工場 工場長)

【略 歴】

- ・ 1989 年：マツダ株式会社に入社 エンジン、変速機のパワートレインの生産に携わる
- ・ 2014 年：MPMT (マツダ・パワートレイン・マニファクチャリング・タイランド) の副社長兼工場長
- ・ 2016 年：MPMT 社長兼 CEO
- ・ 2019 年：本社工場副工場長
- ・ 2020 年：本社工場工場長 現場現物でものづくりを変革しグローバルに展開中
- ・ 2020 年からは広島経済同友会ものづくり委員会の委員長を務め、委員長として中小企業を含めて広島におけるものづくり企業の人材育成に取り組んでいる。

【講演要旨】

広島経済同友会ものづくり委員会は、「ものづくりで輝く広島」を目指して 2017 年に発足し 5 年目を迎えています。ものづくりの基盤となるのは人づくりであり、ものづくりの輪を広げ、現場革新を進め、将来への道づくりに向けて取り組んでいます。

これまで経営者の方々と議論を重ねてきた結果、取り組まなければならない課題は大きく 2 つあると考えます。一つ目は現場を革新するリーダーとして周りの人を巻き込み全員参加型の活動を引き起こす「マネジメント力の育成」、二つ目は高効率・タイムリーな商品開発・生産を実現する「デジタル技術の中小企業への普及」です。

業種を越えた多くの方を対象に実践形式の研修を企画運営しており、本講演では、この活動の狙いと実践状況を紹介させていただきます。

QMAC Symposium 2022.2.24

■ パネルディスカッション コーディネーター紹介

◇ 長坂 康史 氏 (当協会運営委員長、広島工業大学 学長)

[略 歴]

- ・ 1997 年：長崎総合科学大学 工学部 助手
- ・ 1999 年：長崎総合科学大学 工学部 助教授
- ・ 2001 年：広島工業大学 工学部 助教授
- ・ 2008 年：広島工業大学 情報学部 教授・大学院工学系研究科 教授
- ・ 2013 年：広島工業大学 情報学部長
- ・ 2018 年：広島工業大学 副学長
- ・ 2019 年：広島工業大学 学長

[主な役職]

- ・ 日本情報経営学会理事・関西支部副支部長、中国地区品質経営協会運営委員長
- ・ 日本品質管理学会理事・西日本支部長 (～ 2020 年 11 月)

[所属学会]

日本品質管理学会、日本情報経営学会、電子情報通信学会、
情報処理学会、IEEE(米国電子電気学会)、日本物理学会

■ 参加要領

【参 加 費】 無料

【申込締切日】 **2022 年 1 月 31 日 (月)**

【申 込 方 法】 参加申込書に必要事項を記入の上、**E メールにてお申し込み下さい。**

*** 申し込みは、「エクセル書式」のままで送信してください。**

* 会場が複数となる場合は、会場ごとに申込書のファイルを作成してください。

* 一つの会場での参加者が 10 名を超える場合は「会場名 No2」として新たな申込書のファイルを作成してください。

■ ウェブ配信セミナー開催における注意事項

- 1) ZOOM によるウェブセミナーです。参加各社の PC 等の機器・N/W 環境等を確認してください。
- 2) 参加にあたり、録音・録画は禁止となります。
各社の会場毎に接続責任者を決めて頂き、確実な対応をお願いします。
- 3) 接続責任者様（会場ごと）には、事前に「誓約書」のご提出をお願いしております。
誓約書をご提出頂いた方に後日セミナーの接続案内をメールでお送り致します。
- 4) 接続責任者様は、メールアドレスを参加申込書にご記入願います。
配信/接続テストなど、後日メールにてご案内致します。

以 上